

令和4年度(2022年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ【数値目標】

番号	基本目標	項目	現状値 R2(2020)	現状値 R3(2021)	現状値 R4(2022)	目標値 H34(2022)	評価	評価理由	担当部署	(参考)計画書 掲載ページ
1	I 男女平等参画の意識改革	男女平等参画に関する市民意識調査で「社会全体で男女の地位などに差はない」と感じている人の割合	-	-	12.4% (令和3年度調査)	25.0%	B	現状値は目標値を下回ったものの、アンケート全体では男女平等参画に関する意識の向上が見られるため評価をBとした。	総合政策部協働・男女平等参画室	17
2		男女平等参画に関する市民意識調査で「苫小牧市男女平等参画都市宣言」を見開きしたことがある市民の割合	-	-	54.2% (令和3年度調査)	70.0%	C	イベント時等に常に宣言を唱和しているが、結果として現状値が目標値を下回ったことから評価をCとした。	総合政策部協働・男女平等参画室	17
3		各施設の生涯学習関連講座受講者数	9,102人 (R1)	5,381人 (R2年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	5,070人 (R3年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	12,500人	B	目標値を達成していないが、各施設創意工夫し講座を開設、受講者数の増に向けた取組みもあることから、評価できると判断。	教育部生涯学習課	21
4		性教育講演会開催高校数	6校 (2校は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)	12校 (高校8校、中学4校)	17校 (高校8校、中学校9校)	11校	A	中学生向け性教育講演会の希望校が増え、目標値を上回る数値となった。	健康こども部健康支援課	23
5	II 配偶者等からの暴力の根絶 (DV防止計画)	男女平等参画に関する市民意識調査(中学生)で「デートDVを「知っている」と答えた人の割合	-	-	54.5% (令和3年度調査)	70.0%	C	デートDV出前授業を実施したものの、コロナ禍で完全にできなく、現状値が目標値を下回ったことから評価をCとした。	総合政策部協働・男女平等参画室	26
6		男女平等参画に関する市民意識調査(高校生以上)で「デートDVを「知っている」と答えた人の割合	-	-	77.6% (令和3年度調査)	70.00%	A	デートDV出前授業を実施してきたことで現状値が目標値を上回る結果となり評価をAとした。	総合政策部協働・男女平等参画室	26
7		デートDV防止出前授業の中学校の実施校数	9校(R2年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	13校(R3年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり減少傾向	17校 (R4年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり減少傾向	15校	A	コロナ禍でここ3年間は減少傾向であったが、現状値が目標を上回る結果となり評価をAとした。	総合政策部協働・男女平等参画室	26
8	III あらゆる分野への男女平等参画の推進 (女性活躍推進計画)	パパママ教室の参加組数	86組 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限、1回中止)	85組 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数制限、1回中止)	133組	216組	A	目標値は達成していないが、コロナ禍において最大限の受け入れ体制(人数)であったことは評価できる。	健康こども部健康支援課	30
9		パパカフェの参加組数	41組 (令和元年度よりおとうさんといっしょ!!へ変更→直営で実施)	40組	53組	30組	A	目標値を達成したが、今後も定期的な事業内容の見直しや父子健康手帳の活用の機会を増やしていく。	健康こども部健康支援課	30
10		入所を保留している児童数	329人 (R3.3時点)	295人 (R3. 3.31時点)	306人 (R5. 3時点)	120人	B	R5以降、減少に転じる予定のため。	健康こども部こども育成課	32
11		一時保育事業実施箇所数	6か所 (R2.4時点)	6か所 (R3. 3.31時点)	6か所 (R4. 4時点)	7か所	B	R6に目標達成見込みのため。	健康こども部こども育成課	32
12		延長保育事業実施箇所数	11か所 (R2.4時点)	12か所 (R3. 3.31時点)	13か所 (R4. 4時点)	10か所	A	目標値を上回っているため。	健康こども部こども育成課	32
13		児童センター利用者数	127,738人	136,926人	161,847人	149,000人	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響が緩和され、令和3年度よりも自主事業を多く実施したことで、目標値を達成することができた。	健康こども部青少年課	32

令和4年度(2022年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ【数値目標】

番号	基本目標	項目	現状値 R2(2020)	現状値 R3(2021)	現状値 R4(2022)	目標値 H34(2022)	評価	評価理由	担当部署	(参考)計画書 掲載ページ
14		乳児家庭全戸訪問事業実施割合	97.00%	97.6%	97.2%	100%	A	コロナ禍においても目標値にきわめて近く、概ね2か月以内に実施できた。	健康こども部健康支援課	32
15		男女平等参画に関する企業実態調査で「ワーク・ライフ・バランス」を理解している事業所の割合	-	-	51.6% (令和3年度調査)	50%	A	企業表彰等を実施し、現状値が目標値を上回る結果となり評価をAとした。	総合政策部協働・男女平等参画室	35
16		自主防災組織等への女性の参画割合	0.231	23.1%	17%	30%	B	自主防災組織連合会専門委員について、女性の割合が前回よりも6%減になったため、B評価とした	市民生活部危機管理室	38
17		市民防災講座等への女性の参画割合	※新型コロナウイルス感染拡大のため市民防災講座中止	※新型コロナウイルス感染拡大のため市民防災講座中止	25%	20%	A	令和4年度は久しぶりの開催だったが、目標値を5%上回ることができたため、A評価とした	市民生活部危機管理室	38
18		異文化に触れる講座・事業の参加者延べ人数	544人 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	268人 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響・臨時休館による日程変更の影響による減	692人(103.2%)	670人	B	9月まではコロナの影響もあつたが目標値を上回った。語学や料理、踊りなど異文化に触れる講座を実施した	市民生活部市民生活課	39
19		市や国際交流関係団体等が実施する国際交流事業に参加したことのある市民の割合	-	-	-	15%	-	-	総合政策部未来創造戦略室	39
20		国際交流ボランティア登録者数	185人 (R3.3現在)	195人 (R4.3現在)	203人 (R5.3現在)	175人	A	目標値を達成したが、引き続き啓発に取り組んでいく。	総合政策部未来創造戦略室	39
21		国際交流サロン利用者数	778人 (R2年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により減	595人 (R3年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により減	894人 (R4年度)	1,500人	B	目標値は達成していないが、感染症の収束とともに数値は上昇傾向にある。引き続き啓発に取り組んでいく。	総合政策部未来創造戦略室	39
22		市の審議会等委員の女性割合	29.4% (R3.4現在)	28.9% (R4.4現在)	30.1% (R5.4現在)	30%	A	目標値を達成したが、引き続き啓発に取り組んでいく。	総務部行政監理室	42
23		女性人材バンク登録者数	77人 (R3.4現在)	80人 (R3.4現在)	80人 (R4.4現在)	80人	A	地道な広報活動の結果、現状値が目標値に到達した結果となり評価をAとした。	総合政策部協働・男女平等参画室	42
24		市職員の女性管理職の割合	24.0% (R2.4.1現在)	23.8% (R3.4.1現在)	23.4% (R4.4.1現在)	25.0% (H32年度)	B	目標値を達成していないが、登用促進の取組みを継続することで、目標値に近い数値で推移しており、男女平等参画の推進が進んでいると評価できる。	総務部行政監理室	43
25		市職員の女性係長職の割合	23.1% (R2.4.1現在)	23.5% (R3.4.1現在)	23.5% (R4.4.1現在)	30.0% (H32年度)	B	目標値を達成していないが、少しずつ割合は増えており、男女平等参画の推進が進んでいると評価できる。	総務部行政監理室	43
26		市職員の女性受験者の割合	36.9% (R2年度)	33.6% (R3年度)	33.7% (R4年度)	33%	A	目標値を達成したが、引き続き啓発に取り組んでいく。	総務部行政監理室	43
27		市男性職員の育児休業取得者の割合	10.0% (R元年度)	12.5% (R2年度)	13.5% (R3年度)	10%	A	目標値を達成したが、引き続き啓発に取り組んでいく。	総務部行政監理室	30

令和4年度(2022年度) 苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ【数値目標】

番号	基本目標	項目	現状値 R2(2020)	現状値 R3(2021)	現状値 R4(2022)	目標値 H34(2022)	評価	評価理由	担当部署	(参考)計画書 掲載ページ
28		市職員の時間外勤務数(上限360時間超え職員数)	94人 (R元年度)	74人 (R2年度)	102人 (R3年度)	125人	A	目標値を達成したが、引き続き啓発に取り組んでいく。	総務部行政監理室	30
29	IV 健康でいきいきと暮らせる環境の整備	特定健康診査の受診割合	32.8% (R2年度法定報告値)	28.9% (R4.3.29現在速報値)	29.4% (R5.3.28現在速報値)	50.0% (H35年度)	B	前回より受診率は上回ったが、目標値を達成していないため、引き続き啓発に取り組む必要がある。	市民生活部保険年金課	46
30		がん検診受診割合(胃・肺・大腸・子宮頸・乳がん検診の平均)	8.7%	9%	13%	22%	A	目標値には達していないが、コロナ禍であるにも関わらず数値が向上しているA評価とする。	健康こども部健康支援課	46
31		市民健康教室及び集団教育(出前講座)の参加者数	589人 (R3.3月末現在) (R2年度) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	286人 (市民健康教室85人、出前講座201名) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	364人 (苫小牧健康セミナー87人、出前講座277人)	1,500人	B	目標値を下回ったのは、令和4年度から市民健康教室を苫小牧健康セミナーと名称を改め、年間10回前後の開催を2回に変更している。また、出前講座は新型コロナウイルス感染拡大防止で依頼が激減したため。その後、増加傾向がみられる。	健康こども部健康支援課	46
32		「市民の運動・スポーツ活動実態調査」における市民の週1回以上運動を行う割合	58.20%	-	アンケート調査未実施年のため、不明。	64%	-	-	総合政策部スポーツ都市推進課	46
33		乳幼児健診の受診割合	95.3%~106% 令和2年度調査 ※新型コロナウイルス感染拡大のため令和元年度3月を中止しR2年度4~5月に繰り越す	84.4%~96.7%	91.8%~97.2%	100%	A	目標値には達していないが、コロナ禍であるにも関わらず90%以上の受診率であったことは評価できる。	健康こども部健康支援課	46
34		介護支援いきいきポイント事業の新規登録者数	17人 (R3.3.31現在)	3人 (R4.3.31現在) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	16人 (R5.3.31現在)	70人	C	前回調査より上回ったが、新型コロナウイルスの影響で目標値を達成できていないため、引き続き啓発に取り組む必要がある。	福祉部介護福祉課	49
35		認知症サポーター養成教	26,932人 (R3.3.31現在)	28,661人 (R4.3.31現在)	30,466人 (R5.3.31現在)	21,000人	A	目標値を達成したが、引き続き啓発に取り組んでいく。	福祉部介護福祉課	49
36		市庁舎内洋式トイレの暖房・温水洗浄便座の割合	100% (45か所中 45か所実施済)	100% (49か所中 49か所実施済)	100% (50か所中 50か所実施済)	100% (残り20か所実施予定)	A	予定通り温水洗浄便座を設置することができたため。	総務部総務課	49
37		市庁舎内トイレの手すりの設置割合	32.2% (93か所中 30か所実施済)	32.2% (93か所中 30か所実施済)	37.6% (93か所中 35か所実施済)	50%	C	目標値が50%に対し、達成率が37.6%と目標を達していない。今後目標達成に向け、計画的に実施していく。	総務部総務課	49
38		市庁舎内洋式トイレの割合	49.4% (93か所中 46か所実施済)	52.6% (93か所中 49か所実施済)	53.7% (93か所中 50か所実施済)	50%	A	目標値が50%に対し、53.7%と目標値より多くの洋式化を達成したため。	総務部総務課	49
39		高齢者対象事業の延べ参加人数	1300人 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	940人 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響・臨時休館による日程変更の影響による減	1,410人(45%) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響による減	3,120人	C	9月まではコロナの影響で中止になる事業が多かった。後半は利用者の参加が多く見られ回復傾向	市民生活部市民生活課	49

令和4年度(2022年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ【数値目標】

番号	基本目標	項目	現状値 R2(2020)	現状値 R3(2021)	現状値 R4(2022)	目標値 H34(2022)	評価	評価理由	担当部署	(参考)計画書 掲載ページ
40		リニューアル公園数	167か所 (R2年度末)	169か所 (R3年度末)	171か所 (R4年度末)	168か所	A	目標値を達成したが、引き続き整備に努めていく。	都市建設部緑地公園課	49
41		高齢者ボランティア主体の事業数	13事業	13事業	14事業(77%)	18事業	C	目標値を下回ったがコロナ禍にあっても継続してボランティア活動が行われた。今後も継続して事業増に取り組む	市民生活部市民生活課	50
42		ジョブコーチ養成研修受講助成累計件数	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業中止	6件 (R4.3.31現在)	9件 (R5.3.31現在)	14件	B	目標値を達成していないがジョブコーチやその研修受講助成制度について周知に努め、徐々に利用件数は増えている。引き続き啓発に取り組んでいく。	福祉部障がい福祉課	50
43		障害者雇用奨励金交付人数	0人 (R3.3現在)	1人 (R4.3現在)	1人 (R5.3現在)	5人	C	目標値は達成していないが、奨励金の要件を見直し改めて活用を周知する中で、他の助成制度などをあわせて案内し、障がい者の活用を図った。	産業経済部工業・雇用振興課	50